

電線

法華経寺の泣き銀杏は一段と葉を落として裸になった枝が目立って来ている。巢ごもり生活で今まで気にもしていなかったところに目が行くようになったようだ。毎朝、天窓を開けてはその変化の様子を観察している。

家の南側の窓から眺める先に小さな神社があって、そこにも大きな銀杏の木が立っている。しかし今までこの葉が色づくところなど気にもしていなかった。こちらの銀杏はまだまだ多くの黄葉を枝に留めているようだ。写真に収めてみたが、改めて気が付いた。なんでこんなに電線がごちゃごちゃしているのだろうか。

2020.12.14 (千葉) HT

